

三重県のセブン-イレブン初！ 県内 50 店舗に「ペットボトル回収機」を設置 10 月 20 日（水）より順次稼働開始

株式会社セブン-イレブン・ジャパン(本社：東京都千代田区、代表取締役社長：永松文彦)は、10 月 20 日（水）より順次、三重県津市・松阪市・伊勢市・度会郡玉城町内のセブン-イレブン 50 店舗に「ペットボトル回収機」を新たに設置し、限りある資源の有効な活用と海洋プラスチックごみ対策を目的としたペットボトル回収事業を開始いたします。

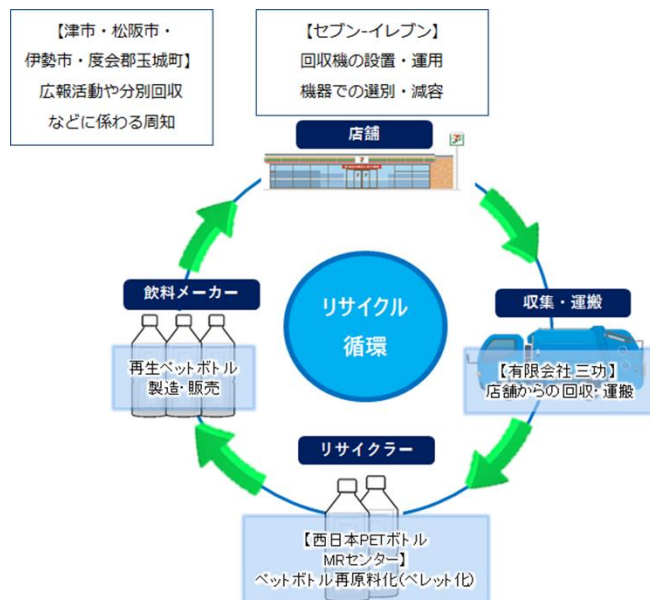
セブン-イレブン店舗への「ペットボトル回収機」設置は、三重県では初めてとなります。

また、セブン-イレブン・ジャパンは、持続可能な循環型社会を構築するために三重県が推進する「みえスマートアクション宣言事業所登録制度」に 2021 年 2 月に登録し、環境負荷低減と、資源循環を推進する取り組みを推進しております。

セブン&アイグループの環境宣言『GREEN CHALLENGE 2050』のプラスチック対策の一つとして地域社会と一体となったボトル to ボトル※1によるプラスチックのリサイクルと海洋ごみ対策を促進し、“循環経済社会”の実現と海洋プラスチックごみの削減を進めてまいります。

※1 ペットボトルを再原料化し、もう一度ペットボトルに戻すこと。

〔概要〕



- ・ 機器メーカー：株式会社 寺岡精工
- ・ 機器サイズ：W650×D500×1,330 (単位：mm)
- ・ 収容量：280 本
※500ml ペットボトル換算
- ・ ポイント付与：累計 5 本毎
nanaco ポイントを 1 ポイント付与

〔ご参考〕

◆「ペットボトルリサイクル工場」への出資について

西日本 PET ボトル MR センター（三重県津市）は、協栄 J&T 環境株式会社（三重県津市、代表取締役社長：古澤 栄一）が運営する国内最大級のペットボトル樹脂製造工場です。

JFE エンジニアリング株式会社（社長：大下 元、本社：東京都千代田区）のグループ会社である J&T 環境株式会社（社長：露口 哲男、本社：神奈川県横浜市）と、協栄産業株式会社（社長：古澤 栄一、本社：栃木県小山市）ならびに株式会社セブン&アイ・ホールディングス（社長：井阪 隆一、本社：東京都千代田区）の 3 社は、「協栄 J&T 環境株式会社」に資本参加しております。

◆セブン - イレブン店頭のパットボトル回収機について

セブン - イレブンでは、2017 年より店頭への「パットボトル回収機」の設置を開始し、現在 918 台（2021 年 10 月 20 日時点、三重県設置分除く）となっております。

また、お客様よりお預かりしたレジ袋代金における「本部収益相当額」を、パットボトル回収機の設置費用の一部に充てることで、更なるプラスチックのリサイクルに取り組んでおります。

※画像はイメージです。



◆回収したパットボトルの再利用について

セブン&アイグループ各事業会社の店頭で設置されているパットボトル回収機で回収されたパットボトルは、ボトル to ボトルの取り組みなどに活用され、再び、商品として生まれ変わります。

〔商品の一例〕

- ・『セブンプレミアム ー（はじめ）緑茶 一日一本 500ml』
- ・『セブンプレミアム ー（はじめ）緑茶 600ml』各種



※本製品の PET ボトルの原材料として、セブン&アイグループの店頭で回収された使用済 PET ボトルをリサイクルした PET 樹脂のみを 100% 使用していることを誓います。

◆「みえスマートアクション宣言事業所登録制度」について

持続可能な循環型社会を構築するために、資源確保から製品の生産、流通、販売、廃棄に至るライフサイクル全体で資源循環を図るため、資源のスマートな利用を宣言し、自主的な取り組みを実施する事業所を「みえスマートアクション事業所」として登録する制度です。

明日にいいこと。つなげる、つづける。

以上